



広報

おぐに

私のおぐに^{がく}楽

〈栗拾い〉

稲刈りの音が響き、秋の匂いが漂う秋晴れの日、
ひ孫の心音ちゃんと栗拾いを楽しむのは、伊藤し
か子さん（田沢頭）。山が大好きだと言う伊藤さ
んは、大きな栗を持ったまま、山での出来事をた
くさん話してくれました。

2006
NO.624

10



第45回少年の主張小国地区大会が9月1日、小国中学校を会場に開催されました。この日は町内4つの中学校から、9人の弁士が参加し、日頃自分が感じていること、体験から学んだことなど、強い思いを主張しました。

小学校2年生で父親が亡くなり、どんなときも家族を思い自分たちを育ててくれた母親へのメッセージを込めて語られた、北部中3年の齋藤友貴さん（石滝）が最優秀賞、白沼中3年の井上亜弥さん（沼沢）が優秀賞、小国中3年の藤田泰輝さん（小玉川）が優良賞に選ばれました。



9/1

私の思いを伝えたい！
少年の主張小国地区大会

白い森発

ぐると情報局

つど う かがや
参おう生産みだそう燦こう
第18回全国農業青年交換大会

9/5

9月4日から6日まで開催された、第18回全国農業青年交換大会山形大会の一環として、5日、本町の基督教独立学園高校（鈴木浩二校長）で視察研修が行われました。

この大会は、次代の日本の農業を担う全国の農業青年が一堂に会し、その知識や技術を相互に交換するとともに、仲間との交流・友情を深め、農業者としての自信と誇りを培うことを目的として開催されたものです。訪れた農業青年たちは、同校卒業生である高橋潤一さん（叶水）の、自然と共生しながら、楽しめる農業をしていきたいという講演に熱心に耳を傾けていました。

私は、昭和三十年十二月、小国町大字折戸に四人兄弟の末っ子で次男坊として生まれました。家のすぐ後ろは山で、目の前には田んぼがあり川が流れていて、その向こうはまた山と、見渡す限り山と川に囲まれたところで育ちました。子どもの頃の遊びといえば、夏は川遊び、秋は栗を拾ったり山にキノコを採りに行ったり、冬になるとスキーや、手づくりで運転ざりを作って遊んだりしました。長い冬が終わり春になると、また山に



斎藤 京二さん
（東京都在住 折戸出身）

シリーズ
私のふるさとへ



9/13~15

普段の生活を共同で おぐに舞波ワールド通学合宿

子どもたちが学校に通いながら、公民館などに泊まり共同で生活する通学合宿が、9月13日～16日の3泊4日の日程で、東原公民館を会場に行われました。

この合宿は、保護者から離れ、共同生活を通して協力しながら、生きていくための力を身につけようと、ボランティアサークルのおぐに舞波ワールド（間宮尚江代表）が行ったもので、町内の小学生7人とボランティアの高校生6人が参加しました。

合宿では、担当ごとに責任者である高校生が中心となって、食事作りや入浴、布団の準備など全て自分たちで行い、4日間の共同生活を過ごしました。



9/14

お年寄りを理解しよう 高齢者体験教室

身近にいるお年寄りを理解し、家庭や地域の一員としての役割を考えてみよう、と、小国中学校2年生80人を対象とした高齢者体験教室が、9月14日、同校で開催されました。

満天の家管理者の舟山靖恵さんによる「高齢者の理解のために」と題した講話に続いて、手足や目、耳が80歳代の機能と同様の体験ができる高齢者体験セットの装着や、きざみ食、ミキサー食の試食なども行われました。

視野が狭く、見えにくくなるゴーグルをかけた生徒は、普段とは全く違った世界に驚いたり、不自由さを実感していました。



行って、木の枝のツルを利用してターザンの様に木から木に飛び移ったり、コブシのつぼみを探っては、香水の原料として業者の人に売って小遣いを稼いだりと、小国町の自然は、私にとって遊びだけでなく、完全に生活の一部でした。そんな生活をしていた私も、高校を卒業と同時に自分の夢を追って仙台、東京へと旅立ちました。あれから三十年以上の歳月が流れても、私の心の中の故郷は何一つ変わりません。母親は十四年前に病気で他界しましたが、親父も兄貴も、兄貴の家族も、同級生や友人、親戚の人達も、迎えてくれる全ての人が私を快く受け入れてくれます。東京で自分の夢に向かって頑張って、少し疲れても、田舎に帰ると心が洗われて「よし、また頑張ろう」という気持ちになります。そんな故郷を持つことができた私はとても幸せで感謝の気持ちで一杯です。故郷小国は、私の人生の原点であり、これからもかけがえない心のオアシスです。

森林セラピー®基地

白い森の国おぐに〜ブナの森^{ぬくみ}温身平〜

七二七・五五平方キロメートルにおよぶ町土は、約九五％がブナを中心とする落葉広葉樹林に覆われています。

磐梯朝日国立公園区域にあり、美しいブナの原生林に囲まれた溪流沿いの地区、本町の温身平が、全国六カ所の森林セラピー基地の一つとしての認定を受け、ウォーキングロードを含めた全国十カ所が来年四月のグランドオープンに向けて準備をすすめています。そこで、二回にわたりその概要を紹介します。

※「森林セラピー」は、森林セラピー研究会の登録商標です。

森に育まれた生活文化

本町には、山菜文化やマタギ文化など、自然の恵みと四季の変化を上手に生かしてきた独特の文化が息づいており、今に受け継がれています。

森と人とのかわり、森から得た生活の知恵や技術、培われてきた文化について、舟山堅一さん（小玉川）にお話を聞きました。

「飯豊山は毎年同じ景色で、ずっと昔からその雄大な姿を変えずに我々の生活を支えてきました。」

私は中学校を卒業すると、母親に連れられて山にゼンマイ採りに行きましたが、採ってきたゼンマイを、揉みながら干すという作業も、保存す



舟山堅一さん

る方法も、この地に暮らしてきたものならば当然知っていますし、それはまさに山から得た知恵であると思います。母親にはよく「朝寝ていはだめだ、山に行けば山菜が採れ、生きていくための糧になるのだから、早く起きて山を歩け」と言われました。

また、この地で生きていくために、当然のこのように狩猟を行ってきました。

食料としてだけではなく、動物と自然の中で共存していくためには動物と人間の関係を明確にしておくことが必要です。また決して捕りすぎることはなく、ちょうどいい量を採ります。山菜やきのこを採り、動物を捕ることが山の保全にもなっているのかもしれない。

確かに自然は、時として脅威となり私たちに試練を与えることもあります。マタギの



ゼンマイ揉みも森から得た技術の1つ

仲間にも、雪崩に遭い間一髪のところまで命を拾ったものもあります。この地での暮らしは、自然との戦いでもあるのです。そんな中から山の神を信仰する文化も生まれてきたのでしょう。

こうして私たちは、山からの恵みを得ながら、山に支えられ山とともに生きてきました。この文化は是非とも後世に受け継いでいきたいものだと思います。」

舟山さんの話のように、森は、私たちにさまざまな恵みを与え、独特の生活文化である「ブナ文化」を育んできました。また、そうした生活の中で無意識のうちに、森に癒やされて生活してきました。

森林セラピー®とは

森林セラピーとは、森の風景や香り、音色や肌触りなど、森のいのちや力を感じることによって、科学的な根拠を基に、私たちの心身に元氣を取り戻させようとするものです。今までも、森はストレス解消などの効用があるため「森林浴」として多くの人々に親しまれてきました。しかしながら、森林浴については、その効用について、明白な科学的説明がなされていませんでした。

一方、現代のストレス社会において、森林浴がもたらす生理的リラックス効果に、国民の関心や期待が高まっています。そして、森林のもつ「癒し効果」を活かし、健康



増進やリハビリテーションに役立てる森林セラピーが注目されるようになってきました。そこで、林野庁では、独立行政法人森林総合研究所や社団法人国土緑化推進機構、民間企業のほか、医学関係者などとともに、産学官連携による「森林セラピー総合プロジェクト」を立ち上げ、森林がもつ癒し効果の科学的解明

や効果的な森林セラピーメニューを確立し、森林セラピーを推進していこうと研究を進めてきました。

森林セラピー®基地として立候補

ブナを中心とする森林に囲まれ、森がもたらす豊かな恵みとともに文化を築き上げて

きた本町は、そのフィールドにふさわしい環境にあることから、昨年二月、全国に先駆けて温身平周辺を森林セラピー基地として認定を受けるため申請を行いました。

町内には、温身平のほか、朝日山麓に広がる「おぐに白い郷土の森」や「針生平」、中心部の「健康の森横根」など豊かな森林環境が広がっており、それぞれが特徴をもった森林空間を有しています。

この度は、溪流の音を聞きながら散策できる平坦な歩道や原生林の面影、さらには宿泊施設の整備状況や現地までのアクセス性、森林セラピー基地として求められる面積などを考慮し、温身平を選定しました。

癒し効果の科学的検証

昨年の七月、森林セラピー基地・ウォーキングロードの



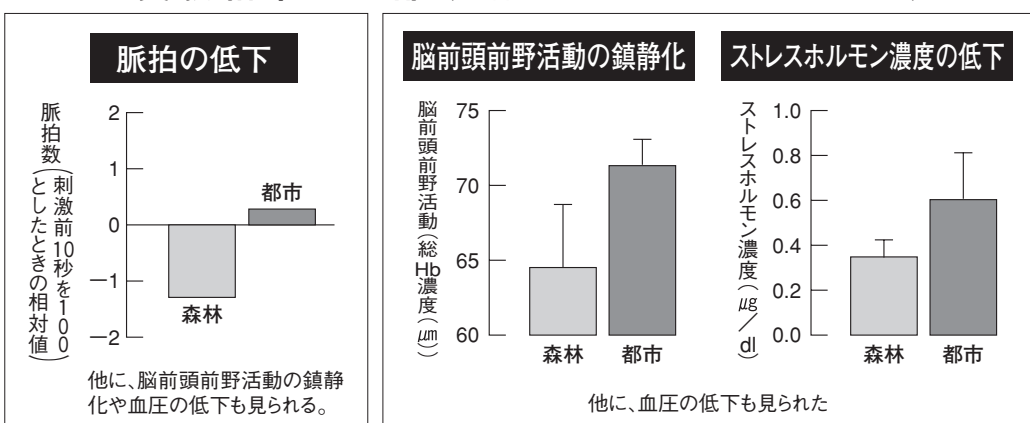
町内中心部の健康の森横根

認定を行うために、登録された全国二十七団体の森林セラピー基地候補地の中から、本町を含む十カ所において、心身の癒やし効果を検証する生理実験が行われました。

生理実験は、森林部と都市部で同じ被験者によって行われ、心拍変動性・唾液中コルチゾール・唾液中アミラーゼ・血圧などの反応を総合的に測定し、人への森林の効能を科

実験結果の一部（森林セラピーポータルサイトより）

学的に調査しました。
実験の結果、ストレスホルモンである唾液の中のコルチゾールが都市部に比べ、森林



出典：独立行政法人森林総合研究所
宮崎氏・朴氏他

では濃度が低くなるということとがわかりました。
また、心拍の「ゆらぎ」の測定で、ストレスの高い時に高まる「交感神経」が抑制され、リラックスした時に高まる「副交感神経」が高進するということや、脳の活動も森林では鎮静化されリラックスしていることがわかりました。



森林の効果を科学的に調査

森林セラピー®基地として認定

昨年度実施された実験結果や、その他の条件を満たす候補地の中から、本年四月十八

日に、ウォーキングロードとして四カ所、森林セラピー基地として本町を含めた六カ所が、林野庁などによる森林セラピー・ステアリングコミッティ（認定機関）より認定を受けました。森林セラピー基地としては、東北で本町一カ所だけの認定となりました。

白い森の国からの発信

それぞれの基地・ロードでは、来年四月に予定されているグランドオープンに向けた準備が進められています。

本町でも、散策路の整備や森の案内看板設置のほか、体験メニューづくりなど、総合的な整備をすすめています。

また、森林セラピー基地としての機能が効果的に発揮されるためには、一度だけでなく、再びお客様に訪れていただくことが大切です。お客様が何を求めているのか、どのようなことに癒しを感じるのか、とができるのか、九月二十九日から三日間にわたって、一般モニターによる体験会も実

施されました。

さらに、この事業を展開していくためには、地域とのかかわりが不可欠であり、そのつながりを築いていくことが重要となってきました。自然の営み、森から得てきた恵みなど、森林が持つ多面的な機能を十分に発揮できるよう、本町にふさわしい基地づくりに取り組み、白い森の国からの情報を発信していきます。

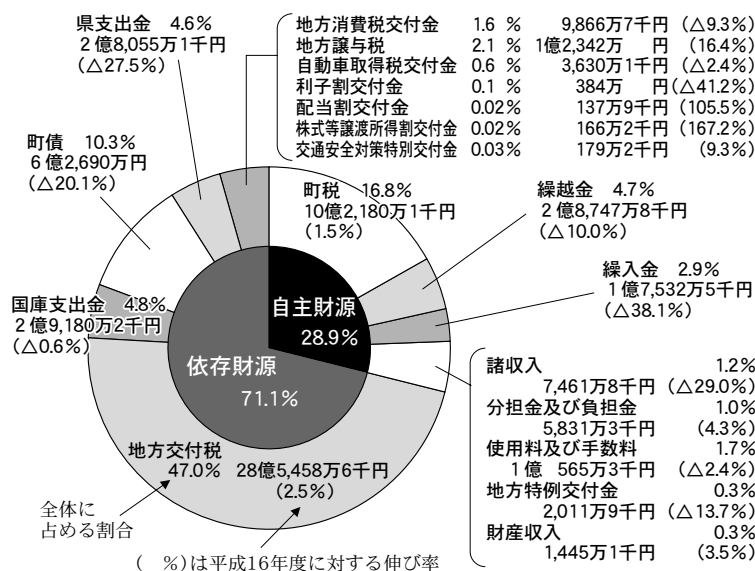
*体験会の様子や今後の基地づくりについては、次回紹介します。



案内看板を設置

「57億4,185万円」でした

歳入(町に入ってきたお金) 60億7,865万8千円



【一般会計の決算のあらまし】

今世紀最大の構造変化と言われている人口減少社会を迎え、町では、小国町行財政改革推進方針に基づいた行財政改革を推進しながら、少子高齢化への対応や地域産業対策など、地域が抱える諸課題への対応を積極的に展開し、自立のまちづくりに取り組んでいます。



【入ってきたお金】

- ①町税 全国的な景気回復基調などの影響から、町民税は前年度比14.0%の増となりましたが、土地の下落傾向が続いていることや企業の設備投資が低調なことから、固定資産税が前年度比2.7%の減となり、町税全体では、1,557万9千円の増額となりました。
- ②地方交付税 国の税金が一部町に交付される地方交付税は、豪雪対策への追加措置などもあり、前年度比2.5%の増となりました。



記録的な大雪となった「平成18年豪雪」

- ③国・県支出金 国や県の制度を活用して事業を行うときに交付されるのが国・県支出金ですが、豪雪に伴う臨時の除雪事業補助金が交付された一方、農林関係の事業が終了したことなどにより、27.5%の大幅な減となりました。
- この結果、一般会計の歳入総額は、前年度に比べ5.4%減の60億7,865万8千円となりました。

■病院事業会計決算	
病院事業収益	9億9,938万円
病院事業費用	10億3,267万円
※外来患者	49,511人
入院患者	16,910人
■老人保健施設事業会計決算	
老健施設事業収益	2億8,922万円
老健施設事業費用	2億8,373万円
※施設入所者	16,091人
短期入所者	922人
通所リハ利用者	5,304人
居宅支援	553人
■水道事業会計決算	
水道事業収益	1億1,530万円
水道事業費用	7,693万円
■工業用水道事業会計決算	
水道事業収益	5,052万円
水道事業費用	5,018万円
■簡易水道事業特別会計決算	
収 入	4,147万円
支 出	2,092万円
■国民健康保険事業特別会計決算	
収 入	8億7,305万円
支 出	8億4,618万円
■部落有財産特別会計決算	
収 入	1億1,443万円
支 出	147万円
■老人保健特別会計決算	
収 入	11億1,755万円
支 出	11億2,664万円
■下水道事業特別会計決算	
収 入	3億4,729万円
支 出	3億4,064万円
■訪問看護特別会計決算	
収 入	1億68万円
支 出	5,240万円
■介護保険特別会計決算	
収 入	7億7,303万円
支 出	7億5,728万円



平成17年度

まちづくりに使ったお金は

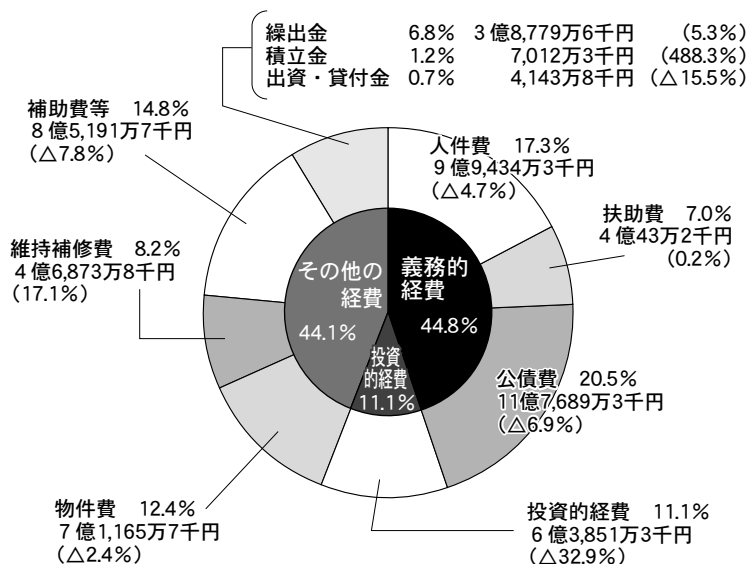
【使ったお金】

- ①義務的経費 扶助費が増加しているものの、職員数の削減などによる人件費の減、及び公債費の減により、総額では前年度比5.0%の減となりました。
- ②投資的経費 農林関係及び道路関係の補助事業の終了に加えて、平成16年度の豪雨災害復旧事業が終了したことにより、前年度比32.9%の減となりました。
- ③その他の経費 小学校の教科書改訂事業や衆議院議員選挙執行など臨時的な経費や、豪雪対応の除排雪経費の追加、原油価格高騰に伴う燃料費の増加などの増要因はあったものの、経費全般の削減や病院事業負担金の減額などから、前年度比でマイナスとなりました。

また、後年度の財源確保対策として、財政調整基金の原資積み立て7,000万円を行いました。

この結果、一般会計の歳出総額は、前年度に比べ6.5%減の57億4,185万円でした。

歳出(まちづくりに使ったお金) 57億4,185万円



主な事業

【総務費】	
環境基本計画策定事業	550万円
携帯電話受益エリア拡大促進事業	692万円
横川ダム建設対策事業	1,063万円
【民生関係】	
自立者支援事業	487万円
保育所児童措置費	1億7,070万円
子育て支援センター設置運営事業	1,497万円
【衛生費】	
小国町斎場整備事業	758万円
老人保健事業	2,775万円
健康づくり推進事業	122万円
【労働費】	
雇用相談員設置事業	126万円
勤労者生活安定資金原始預託事業	1,666万円
【農林水産業費】	
農業経営構造対策事業	1億6,236万円
町有林造林事業	1,122万円
森林セラピー機能実証事業	678万円
【商工費】	
商店街活性化推進事業	710万円
白い森フォトコンテスト開催事業	36万円
【土木費】	
除雪事業	3億7,140万円
町道小坂町朝篠線道路改良事業	3,673万円
【教育費】	
小中高一貫教育支援事業	638万円
学校統合事業	597万円
小学校教科書改訂事業	1,049万円
【災害復旧費】	
過年発生林業施設災害復旧事業	1,187万円
現年発生公共土木施設災害復旧事業	1,964万円



地域健康づくりの指導者となる健康サポーターを養成



学校統合によるスクールバス通学

受け継がれる 地域の伝統

舟渡の獅子踊り



塚原勇太郎さん

舟渡の獅子踊りは、舟渡若連中の組織で維持運営されていましたが、戦時中は休演を余儀なくされました。戦後の昭和22年に復活、舟渡の洞泉寺にて踊り始めを行いました。時代の変化に伴って昭和57年に舟渡若連中が解散し、現在は舟渡公民館青年文化部に引き継がれています。昭和22年の復活は、地元の青年たちの強い願いが叶った復活でしたので、今後もこの伝統ある芸能を引き継いでいって欲しいと願っています。

小国町無形民族文化財に指定されている舟渡の獅子踊り。今から七〇〇年以上前、豊作の神として尊崇の厚い、沖庭神社が建立されたころから形をなしていたと伝えられています。

職業の多様化、農業の機械化などにより、地域内での共同作業の機会が減っていくなかであって、地域の連帯感、親睦を深めるこの行事は、今年も舟渡公民館青年文化部の皆さんによって九月十日に行われました。地域の伝統を受け継ぎ、次の世代へ引き継いでいこうと取り組むその姿を紹介します。



▶ 昭和32年8月12日舟渡洞泉寺境内にて作祭りと合わせて行われた盛大な公演。郷土の貴重な文化財として保存しているこうという気運が高まり、大勢の観衆を前に披露された。



▲ 熱が入る先輩方の指導。世代交代をしながら、地域の伝統は固く強い思いとともに継承されていく。



守っていかなければ ならないものです

舟渡公民館青年文化部長
日下 正信さん

現在は2年に1度実施していますが、やはり後継者の確保は年々厳しいものとなっています。しかし、舟渡に生まれ、現在も舟渡に住んでいるという人以外に、舟渡出身で今はアパートに暮らしている人や、結婚をして舟渡に来た人なども熱心に参加してくれています。練習にたくさんの人が集まったときは、嬉しい思いがこみ上げます。

舟渡の伝統芸能であり、自分たちが守っていかなければならないという意識、舟渡という地区に対する強い思いが我々にはあります。また、先輩がたが一生懸命にやっている姿を見て、受け継ぎ、そして代が変わる。その繰り返しになるのだと思います。一度途切れてしまうと復活は非常に難しくなりますので、大変重みを感じています。

▶ 毎晩遅くまで行われる練習。納得がいくまで繰り返し何度も何度も行われる。



▶ 将来、獅子踊りを引き継ぐ舟渡の高校生。真剣なまなざしで先輩方の練習を見学、バチを持つ手が自然と動く。



▶ 道行（みちゆき）。舟渡の入山地区にある菅田という稲場で、沖庭神社を望んで奉納の舞を行った後、大頭を先頭に観衆が待つ踊り場へと行進する。



▶ 出発前に最後の確認をする先輩と若い踊り子。



▲ 本番はもちろん、練習に入る前にも必ず獅子に向かって拝礼。

◀ 本番前の支度の様子。獅子宿に集まったのは、青年文化部のほか支度の手伝いをする地区の女性たち。



9月定例議会

9月定例議会が、9月6日から14日まで開催されました。今回の議会では、平成17年度の各会計決算のほか、平成18年度各会計の補正予算など29議案が審議され、原案どおり可決されました。

これに盛り込むべき町の施策等の取りまとめ経費を追加しました。

合併浄化槽の普及

合併浄化槽設置整備事業において、本年度の設置希望が予定を上回っていることから、補助金を増額して要望に応えることとしました。

森林セラピー®事業

全国の森林セラピー基地の発足を記念して行われた、モニタールによる現地体験会や、試験メニューの実践などを行う事業の経費を措置したほか、平成十九年四月の全国オープンに向けて、案内看板などの表示類の設置に必要な経費を追加しました。

施設修繕

横根スキー場の高圧電気設備を更新するなど、施設の修繕経費を追加しました。

教育関係

学校施設の暖房機器更新を行うため、所要額を計上した

ほか、中学生が各種体育大会で優秀な成績を修め、県大会、東北大会への出場者が増えていことから、派遣費補助金を追加しました。

災害復旧

昨年冬に凍結により被害を受けた道路二カ所について、国庫負担事業により災害復旧を行うための経費を追加しました。

財源対策

近年、基金の取り崩しが増加し、基金残高が目減りしているため、前年度繰越金の一部を財政調整基金へ積立し、残高を確保しました。

また、後年度負担の軽減を図るために公債費の繰上償還を実施することにしました。

●その他の会計

国民健康保険・下水道事業・介護保険の各特別会計で補正を行ったほか、病院・水道の各事業会計でもそれぞれ補正を行いました。

町長室から

小国町長 小野精一

平成二十年三月の完成に向けて横川ダム建設事業が、いよいよ終盤を迎えております。

七月末に、ダム本体のコンクリート打設を完了し、過日は、関係地域の皆さんから参加をいただきダムの貯水予定地を散策する「湖底ウォーク」が行われました。このダムは、昭和四十二年八月に発生した日雨量五三二ミリという記録的な羽越水害を機に、国が流域の安全・安心確保のため計画されました。

ダムが完成いたしますと、洪水調節や工業用水の供給、水力発電や河川環境の保全などの大きな役割を発揮するほか、ダム湖は町の新たな交流空間となりますので、町民の皆さんと一緒にその活用を図りながら、地域活性化に結びつけていきたいと思っています。

平成十八年度補正予算

一般会計の歳入歳出に二億六千二百二十万円を追加したほか、各会計でそれぞれ補正を行いました。

●一般会計に二億六千二百二十万円を追加

横川ダム事業

横川ダムの管理とダムを活かした水源地域の活性化を目的として「水源地域ビジョン」を国が策定することとなり、

斎場整備工事に着手

昨年度から着手している斎場整備事業については、来年十月の供用開始を目指して工事が進められます。

このたび発注された斎場は、告別ホールをはじめ、待合いホール、和室、火葬炉室などが整備されます。



完成予定図

平面図



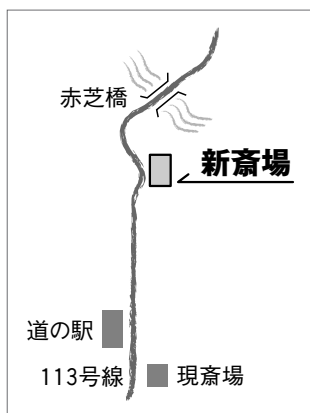
Ⅱ施設の概要Ⅱ

■延床面積
四〇八㎡

■主体構造
鉄筋コンクリート造り一部

■建設場所
二階建て

■建設場所



第7回 癒しの園フォーラム

～生命を育み、守り、美しく年齢を重ねるために～



九月二十日、健康管理センター森のホールにて「きらつと生きる」をテーマとした、第七回癒しの園フォーラムが開催され、百二十名が聴講に訪れました。

このフォーラムは、嬉しいことも切ないこともある中で、今、きらつと生きている、そ

んな人たちと語り合い自分自身を見つめ直してみようと、癒しの園フォーラム実行委員会が主催したものです。

コーディネーターを務めた片寄斗史子氏は、島根県出身で、出版社「ユークリグ」を設立。雑誌「いきいき」の編集長としても活躍中です。

四名のパネリストたちから、それぞれの体験を通して見つけ、感じていることが紹介されると、片寄氏は、命の大切さを感じながら、人生の中に楽しいこと、自分自身がきらつとなれることを、少しでも多く見つけて欲しいと聴衆に語りかけました。

ⅡパネリストⅡ

松田 修氏（小国小坂町）

今千恵子氏（綱木箱口）

本間義人氏（小玉川）

高橋悦人氏（松岡）



コーディネーター
片寄斗史子氏

月 日	場 所	時 間	内 容
10月29日(日)	沖庭小学校	13:00～15:15	沖小・古田歌舞伎
11月3日(祝)	町民総合体育館	9:00～20:00	作品展示
		12:00～16:30	舞台発表(芸能まつり)
		10:00～15:00	茶席(江戸千家)
		10:00～16:00	物産販売
	総合センター	18:00～21:00	舞台発表(民謡まつり)
11月4日(土)	町民総合体育館	9:00～18:00	作品展示
		10:00～15:00	茶席(宗偏流)
	総合センター	17:30～19:30	山遊亭金太郎落語会

平成18年度
小国町文化祭
小国町文化祭を開催します。入場は無料ですので、ぜひお越しください。

■一般作品募集

平成18年度小国町文化祭の出展作品を募集いたします。テーマは自由で、小学生以上の方であれば、どなたでも申し込むことができます。

①募集期間：平成18年10月16日(月)～26日(木)

②申込方法：総合センターに備え付けの申込用紙に必要事項を記入のうえ、作品に添えて申し込んでください。
(受付時間：午前8時30分～午後5時)

③お問い合わせ先：小国町文化協会事務局(教育委員会事務局)まで

④出展作品の規格については、下記をご覧ください。

■出展作品の規格

種 別	規 格	留 意 事 項
書 道	半紙・画仙紙・条巾半切などを使用してください。	雅号で出品される方は、別紙に本名を書いて作品と一緒に提出してください。
絵 画 な ど	洋画、日本画、版画、彫刻、陶芸、デザインなどで、大きさは自由です。	額縁などに入れて提出してください。
写 真	白黒・カラープリントのどちらでも構いません。大きさは4つ切り以上。組写真にする場合は、キャビネ版以上の大きさを使用してください。	題名、撮影年月日、場所を記入してください。額縁などに入れて提出してください。
俳句・短歌	短冊または色紙に書いてください。	雅号で出品される方は、別紙に本名を書いて作品といっしょに提出してください。出品は1人につき2作品までとします。
民 芸 品	ワラ・竹・つる・紙細工などを材料に用いたもので、大きさは自由です。	特に留意事項はありません。
手 芸 品	編み物、刺しゅうなどのもの。	
郷土資料	町の歴史などに関係するもの。	
生け花・盆栽	特に規定はありません。	
陶 芸	特に規定はありません。	

■問合先 教育委員会事務局へ



お知らせ

催し

第13回大里峠越え交流

■日時 10月15日(日)
午前8時～午後4時

■集合場所 役場東側駐車場

■内容 参加者全員で、大里峠を関川村側から登り、小国町側に下ります。(雨天時には日程を変更する場合があります。)

■募集人員 50名

■参加料 無料

■持参するもの 昼食、飲み物、折り鶴など

■申込期限 10月10日(火)

■申込・問合先 地域整備課へ

ビックリ市

■日時 10月8日(日)
午前9時30分～

■場所 アスモ西側駐車場

*当日はバス停がやまとやさん前に移動となります。

■問合先 小国シヨッピングセンター (☎61-0055) へ

第4回おぐに鍋まつり

■日時 11月23日(木・祝日)

正午～

■場所 ふれあいの家

■内容 地場の食材を使った鍋コンテスト。

■その他 出店者を募集しています

■問合先 おぐに鍋まつり実行委員会(商工会内 ☎62-4146) へ

森林づくりを支える

新税についての意見交換会

■日時 10月26日(木)
午後7時～8時30分

■場所 置賜総合支庁西庁舎講堂

■内容 森林などの緑環境を保全・再生していくための、新たな制度として検討されている税制度についての説明と意見交換会

■問合先 山形県総務部税政課 (☎023-630-2072) または文化環境部みどり自然課 (☎023-630-3100) へ

高齢者の雪囲い技能講習会

■日時 10月30日(月)、31日(火)
午前9時～午後4時

■場所 小国町老人福祉センターほか

■対象者 町内に住む57歳以上65歳までで、庭木の雪囲い技術を

習得したいかた

■受講料 無料

■定員 15名

■申込期限 10月20日(金)

■申込方法 ハガキに住所、氏名、生年月日、電話番号を明記し郵送してください。(電話でも可)

■申込・問合先

〒999-1352

小国町岩井沢604-2

小国町シルバー人材センター事務局 (☎61-0030) へ

下叶水遺跡 現地調査説明会

■日時 10月29日(日)
午後2時～3時

■場所 下叶水遺跡発掘現場

■問合先 下叶水遺跡調査事務所 (☎65-2080) へ

山形大学工学部講演会

in 白い森の国おぐに

山形大学工学部では、地域貢献事業として講演会を開催します。

■日時 11月4日(土)
午後1時30分～

■場所 総合センター集会室

■内容 講演「健康食材としての『うこぎ』の魅力」
講師 山形大学工学部副学部長

物質化学工学科 尾形健明教授

■入場料 無料

■問合先 教育委員会事務局へ

4級アマチュア無線技士

養成課程講習会

■日時 10月21日(土)、22日(日)
午前9時30分～午後5時10分

■場所 長井市置賜生涯学習プラザ

■定員 50名

■受講料 2万2,750円(教科書、問題集、免許申請料を含む)

■主催 振興協会

■問合先 日本アマチュア無線機器工業会サウンドプラザフタバ (☎84-5111) へ

募集

白い森おぐにフォトコンテスト

■テーマ 町の自然・景観・風景・町のイベント・生活風景(小国町内で撮影したものに限り)

■規格 4ツ切(高校生以下は2L・4ツ切までのサイズで応募可能)

※一人様応募点数は5点までとします。白黒、カラー不問。ワイド4ツ切、台紙貼り、パネル貼

15

相 談

年金相談

- 日時 10月18日(水)
受付 9:00~
相談 10:45~14:30
- 場所 役場町民相談室
- 問合先 町民課へ

人権相談

- 日時 10月20日(金)
10:00~12:00
- 場所 総合センター
- 相談員 人権擁護委員
- 問合先 町民課へ

特設行政相談

- 日時 10月20日(金)
10:00~12:00
- 場所 総合センター
- 相談員 行政相談委員
- 問合先 町民課へ

県営住宅入居者募集

- ▼県営小国アパート
1号棟3DK 2戸
2号棟3DK 3戸
- 募集期間 10月2日(月)~11日(水)
- 対象 同居する親族があり住

りしたものは不可
 ■応募締切 平成18年2月末日
 (必着)

入 賞

- 最優秀賞 1点(6万円)
- 審査委員長賞 1点(3万円)
- 町長賞 1点(3万円)
- 特別賞 3点(2万円)
- 佳作 7点(5千円)

応募方法

応募票(町ホームページからダウンロード可)に必要な事項を記入のうえ作品ごと裏面に貼付してお申し込みください。

■申込・問合先 産業振興課へ

宅に困っているかたで、平成17年の所得が月額20万円以下のかた

■入居時期 11月中旬

■敷金 家賃の3カ月分

■申込・問合先 山形県すまい情報センター(☎88-5651)へ

平成18年度「おきたまおいしい米づくりコンクール」の募集

■主催 置賜農業振興協議会

米づくりやまがた日本一運動置賜推進部会

■参加区分 「平坦 はえぬきの部」、「平坦 一般の部」、「中山間・山間の部」3部門

※「平坦の部」標高250m未満、「中山間・山間の部」標高250m以上

■申込方法 申込書に必要事項を記入の上、栽培履歴・玄米300gをそえて、小国町役場産業

振興課までご応募ください。(最終審査に選出されたかたからは、後日玄米3kgを審査用に提供いただきます。)

■募集期間 10月31日(火)まで

■審査方法 栽培履歴の書類審査、食味計等を用いた食味成分審査、審査委員による食べくらべによる審査

■問合先 置賜総合支庁産業経済部農業技術普及課(☎0238-57-3411)へ

サッカー観戦

無料招待券を配布いたします。県民チームモンテディオ山形のホームゲームを応援しませんか。

■日時 11月11日(土)

午後2時 キックオフ

■場所 山形県総合運動公園 陸上競技場(天童市)

■対戦相手 ザスパ草津

■配布対象者 小学生以上の小国町民 30名(先着)

■申込方法 10月10日(火)午後1時から町民総合体育館で申込みを受け付け後、無料招待券を配布します。(電話受付はいたしません。)

■その他 当日は、メインスタンド内の所定の応援席からの観戦となります。

■問合先 町民体育館(☎62-5421)へ

除雪機械を貸し出します

大型機械での除雪が困難な歩道や生活道路等を対象に、町の除雪機械(ハンドガイド式小型除雪機械35馬力)を貸し出します。

対象道路

・町道その他町が管理する道路で、道幅の狭い1車線の道路又は歩道

・個人又は法人が管理し、不特定の一般交通の用に供されている道路など

対象者

・町に居住する2世帯以上で構成する任意団体
 ・町長が特に認める個人又は法人
 ※除雪を業とするものには貸与できません。

■募集期間 10月2日(月)~31日(火)

貸出期間

11月下旬~平成18年3月31日

■申込・問合先 地域整備課へ

お知らせ

10月は土地月間です

大規模な土地の取引には、届出



小国町役場 ☎62-2111(代) FAX62-5464

行政管理室 ☎62-2112 政策企画室・地域振興室 ☎62-2264 住民窓口係・町民生活係 ☎62-2260

国保年金係 ☎62-2261 税政管理室 ☎62-2403 出納室 ☎62-2406 農村経営室 ☎62-2408

地域産業室 ☎62-2416 業務管理室・住宅環境室 ☎62-2431 建設工務担当 ☎62-2432 議会事務局 ☎62-2448

総合センター図書室から

開館時間 午前9時30分～午後6時

新刊図書

- ◇陽気なギャングが地球を回す 伊坂幸太郎
- ◇手紙 東野 圭吾
- ◇夜の公園 川上 弘美
- ◇その時ぼくはパールハーバーにいた

グレアム・ソールズベリー

- ◇リトミック・リズム・ゆうぎ 緒方 美穂
- ◇巨匠に教わる絵画の見かた 早坂 優子
- ◇歴史クイズ&地理クイズ124 大原 綾子
- ◇土地と農村 石川 英夫
- ◇ともだちや 内田麟太郎
- ◇河出朝読文庫 全16巻
- ※他多数入荷しました。

今月の休館日：毎週月曜日

が必要です。

■届出が必要な土地取引とは

- ① 市街化区域2千㎡以上
- ② ①を除く都市計画区域5千㎡以上
- ③ 都市計画区域外の区域1万㎡以上

■届出は誰がいつするの
土地の取得者(買主)が、契約をした日から2週間以内に、役場総務企画課へ土地売買等届出書を提出しなければなりません。

■届出をしないとならなるの
届出をしなかったり、偽りの届出をすると法律で罰せられます。

■問合先
総務企画課へ

行政書士制度

行政書士は、官庁や役所などに提出する諸書類の作成、相談、提出代行を行います。具体的には次のようなことについて相談を受けたり、書類の作成、提出などを行っています。

●主な業務

相続・遺言などの手続き、契約書作成、法人設立、農地転用、内容証明書作成、遺産分割、会計帳簿記帳処理など

■問合先
山形県行政書士長井支部事務局 (☎88-9264) へ

求人情報

左の表は9月12日現在の新規求人内容です。無効になっている場合もありますので了承ください。このほかの求人情報は、ハローワーク長井 (☎84-8609) へ

山形県最低賃金 613 円

山形県最低賃金が、10月1日より1時間613円に改正されました。(現行610円) この最低賃金は県内で働くすべての労働者に適用されます。次に掲げる賃金は最低賃金額の計算に含まれません。

- ・精皆勤手当、通勤手当、家族手当
- ・臨時に支払われる賃金
- ・賞与など
- ・時間外、休日、深夜労働などに対する賃金

■問合先 山形労働局 (☎023-624-8224) へ

事業所名	求人数	職種	年齢	就業時間
合資会社山佐藤農機店	2人	営業・販売・整備	20～35	8:30～17:30
医療法人社団緑愛会 介護老人保健施設かやきの丘	3人	看護師・准看護師	不問	8:30～17:30ほか
(株) 船山工務店	2人	土木施工管理技士	不問	8:00～17:00
(株) 斉藤建設	1人	土木施工管理技士	不問	8:00～17:00
第一ホール小国店南コンズカンパニー	2人	ホールスタッフ・店員	18～40	8:00～17:30ほか
(株) 井上製作所	7人	マシンオペレーター	18～30	8:30～16:45ほか
(有) 加藤印刷	1人	グラフィックデザイナー	～35	8:30～17:00
おくに調剤薬局カインドネス(有)	2人	医療事務員	20～35	8:30～17:30ほか
長谷川工業(株)	1人	マシンオペレーター	20～35	8:30～17:00
朝日生命保険相互会社長井営業所	5人	保険営業	25～55	9:10～16:50
アヘフランニング	2人	役務係	不問	8:00～17:00
第一生命保険相互会社坂町支部	5人	生涯設計デザイナー	25～55	9:00～17:00
味処藤よし	3人	調理師・店員	不問	8:30～22:00
ハイコー(株)	2人	作業員	18～40	8:00～17:00
舟山鉄筋	1人	作業員	不問	8:00～17:00
(株) コメリ新潟地区本部	20人	販売員	18～35	9:00～18:00ほか
(有) 村上警備保障	2人	交通誘導員	不問	8:00～17:00
K-PRODUCTS	1人	自動車販売・整備	不問	8:30～17:30
大河内産業(有)	7人	事務員・オペレーター・プラントオペレーター	不問	8:00～17:00
山和建設(株)	1人	スタンド従業員	18～35	8:00～18:00ほか
(株) 横川建設	10人	重機オペレーター・土木施工管理技士・土木作業員・事務員・営業・4tトラック運転手	不問	8:00～17:00
マンパワー・ジャパン(株)山形支店	1人	事務業務	不問	8:40～17:20
(株) スタッフサービス	5人	機械生産	不問	8:30～17:00
(株) パソナ新潟支店	1人	一般事務	不問	8:30～17:15
(株) アイコンワールド新潟営業所	8人	洗浄工	不問	8:30～16:40ほか
(株) シーテック山形営業所	2人	機械設計	不問	9:00～18:00
聖翔庵オープンソーシング事業部山形営業所	4人	生産技術業務・プログラミング業務	不問	9:00～18:00
(株) 技能育成センター郡山校	4人	加工検査	不問	8:30～16:40ほか
社運堂	1人	接客・販売	不問	9:00～17:00ほか
酒味庵まつばら	1人	店員	不問	17:00～21:00ほか
(有) 白い森よこね物産品直売所	7人	販売員	不問	9:00～18:00ほか
ファミリーマート小国町店	1人	店員	不問	0:00～8:00(6時間)
ヤマト運輸(株)山形長井センター	2人	ゲストオペレーター	20～40	8:00～14:00ほか
社会福祉法人小国町社会福祉協議会	4人	ホームヘルパー	20～50	8:30～17:15(4時間)

子育て支援センターから

☆あそびの広場☆

■日程 10月3日、10日、17日

子育て講座「みんなでエアロビ」、

24日、31日、11月7日

■時間 午前10時～11時30分

■場所 健康管理センター

■対象者 0歳から入園前のお子

さんとお家のかた

☆なかよし広場☆

■日程と場所

10月5日、19日、11月2日

総合センター

10月12日、26日

おくに保育園

■時間 午前10時～11時30分

■対象者 0歳から入園前のお子

さんとお家のかた

☆こども愛ランド☆

■日時 10月14日(土)

午前10時～正午

■場所 健康管理センター

■内容 親子で体操とお楽しみ

工作(申込が必要です)

■申込期限 10月12日(木)

■対象者 おおむね2歳からのお

子さんとお家のかた

☆ブックスタート勉強会☆

■日時 10月11日(木)

午後1時30分～3時30分

■場所 健康管理センター

「風のホール」

■内容 絵本を介しての、赤ちゃんとの触れ合い方や、読み聞かせについてを学びます。

■講師 NPOブックスタート

■対象者 絵本の読み聞かせや、

子育てサポーター等に興味のあるかた

■申込期限 10月10日(火)

■問合先 子育て支援センターへ

おくにこどもの日まつり

く親子のふれあいで健康づくり

おくにこどもの日まつり
く親子のふれあいで
健康づくり



■日時

11月11日(土)

午前9時～

■場所 健康管理センター

■内容

講演及び体操

講師 (有)アリスファミリー

山野さと子氏

人形劇 劇団「あ・い」

食の提案

■問合先 子育て支援センターへ

1日人間ドック追加募集

小国町国民健康保険では、1日人間ドックを実施しており、まだ申し込みをされていないかたで受診を希望するかたを対象に、追加募集を行います。

人間ドックは、個人で受ける場合、全額自己負担ですが、今回は国民健康保険の助成により約4分の1の負担で受診できます。

■期 日

10月13日(金)、20日(金)、23日(月)、25日(水)、27日(金)、30日(月)、11月10日(金)、17日(金)、20日(月)、22日(水)、24日(金)、27日(月)、29日(水)

■対象者

平成18年4月1日現在、満30歳、33歳、36歳、39歳、42歳、45歳、48歳、51歳、54歳、57歳、60歳、63歳、66歳、69歳、72歳のかたで、現在国民健康保険に加入されているかた(老人保健対象者を除く)

■実施医療機関 小国町立病院

■個人負担金 男性10,500円 女性11,200円

■申込方法 希望する受診日の1週間前までに、電話で申し込んでください。

■申込・問合先 町民課へ

10月6日(金)

児童手当を振り込みます

10月6日(金)に、10月期の児童手当を振り込みますので、該当されるかたは確認してください。(振込通知は郵送していません。)

児童手当は、申請していただくことによって支給できる制度です。次のような場合で、まだ申請を行っていないかたは早めに手続きを行ってください。

- 平成6年4月2日以降に子どもが生まれたがまだ申請をしていない。
- 転入届は出したが、児童手当の手続きをしていない。
- 以前、所得超過によって受給資格を喪失したが所得が減った。または、扶養親族が増え所得制限限度額を超えなくなった。

■問合先 健康福祉課へ



保健カレンダー

月日	乳幼児健診	受付時間	対 象	場 所
11/1	ポリオ予防接種	13:00～13:30	○18年1～5月生まれ ○7歳6カ月までに2回接種を終えていない子ども	健康管理センター *持ち物 母子健康手帳、問診票(4カ月児、1歳児健康診査は除く)
11/24	4カ月児健康診査 1歳児健康診査	13:00 ～ 13:15	18年7月生まれ 17年11月生まれ	
11/29	2歳児歯科健康診査		16年3～5月生まれ	

■問合先 健康福祉課へ



■問合先 健康福祉課へ
 木工品 小関芳寛
 ○12月4日～22日
 園児作品 白沼・叶水保育園
 ○11月13日～12月1日
 園児作品 すみれ保育園
 ○10月23日～11月10日
 さをり織 共同作業所まんまる
 ○10月2日～20日

健康管理センター展示

■問合先 健康福祉課へ
 今医院
 小国町立病院(10月16日(月)より予約を開始します)

■接種場所
 ■自己負担額 1,500円

*期間内でもワクチンが無くなり次第終了します。
 ■接種期間 11月1日(水)～平成19年1月31日(水)
 接種を希望するかた、接種当日に満65歳以上のかたで、接種を希望するかた。

高齢者のインフルエンザ予防接種を助成します

平成18年度 地価調査結果

平成18年度地価調査結果が公表されましたが、小国町に関するものは次のとおりです。

■基準値の標準価格(平成18年7月1日)

基準値の所在	当年価格(円/㎡)	前年価格(円/㎡)	変動率(%)
兵庫館一丁目6番11号	11,600	12,200	-4.9
緑町三丁目9番1	20,700	選定替	
北字原野80番25	8,830	9,300	-5.1
兵庫館三丁目5番18外4筆	13,700	14,800	-7.4
小国小坂町字八木沢三125番地	53,000	57,000	-7.0

※地価調査とは、県内全市町村を対象として、各地域で基準となる土地(これを基準地といいます。)を選んで、その適正な土地価格を公表し、土地を売買する際の目安としていただくものです。

■問合先 総務企画課へ

簡易郵便局の窓口事務が個人受託に変わります

これまで町が受託してきた簡易郵便局の郵政窓口事務は、郵政事業の民営化に伴い、10月1日から個人受託に切り替わります。

簡易郵便局の窓口では、今までと同様に郵便・貯金などのサービスが提供され、町民の皆様にはこれまでと変わらずご利用いただくことができます。

個人受託となる簡易郵便局は次のとおりです。

- ・伊佐領簡易郵便局
- ・荒川簡易郵便局
- ・五味沢簡易郵便局
- ・叶水簡易郵便局
- ・幸町簡易郵便局(11月以降)

■問合先 町民課へ

輝けおぐにっ子

今月は、子育て支援センターで毎月第2土曜日、就学前の子どもを対象として開催している、こども愛ランドの参加者を紹介します。



関川村の親子との交流会に参加した西長良平さん親子とおばあちゃんの三四子さん（幸町）

シリーズ
6

～お父さんの参加が増えるといいですね～

「週に2回行われているなかよし広場やあそびの広場には、おばあちゃんと子どもが参加していますが、こども愛ランドの場合は土曜日に行われますので、私や妻も参加することができます。また、保育園児や小学生など年代の違う子どもとの交流ができるようです。子どもだけでなく、親同士の交流にもなりますが、まだまだお父さんの参加が少なく残念です。今回は私とおばあちゃんと子どもで参加しましたが、このようにいろいろな形をとることができるので、是非お父さんたちにもっと参加していただきたいです」。

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

小国町 伊藤 琥次郎（純 沙織）
西 今 ちひろ（清 一 友 帰子）

結婚おめでとうございます。

（北 町 安部 敏 男
最 上 阿 部 あ き
東 原 渡 部 光
川 西 町 小 関 恵 子）

おくやみ申し上げます。

岩井 沢 小野 繁 松 (87)
沼 沢 渡 部 通 吉 (87)
若 山 色 摩 登美子 (72)
今 市 秋 保 勝 美 (73)
岩井 沢 岩崎 善左衛門 (88)
岩井 沢 木 村 金 雄 (88)
岩井 沢 小 嶋 ツ ヤ (85)
白 子 沢 二 馬 健 一 (91)
若 山 舟 山 はふ江 (93)
あけぼの 渡 部 喜 助 (86)
岩井 沢 海老名 ゑ よ (87)
北 伊 藤 紀 雄 (54)

人口のうごき

人 口 男 … 4,721人(－3)
女 … 4,985人(－5)
計 … 9,706人(－8)
世帯数 3,285世帯(+3)
平成18年8月31日

編集後記

舟渡の獅子踊りを取
材して、若い世代の活躍
に正直驚きました。高
齢化が進み、地域の行
事が衰退していきがち
な社会の中で、世代交
代とともに受け継がれて
いる姿に、地域の強い連
帯感を感じました。「練
習の後の一杯がっつ
なかりを強めてるんだ
な」と杯を片手に語る
メンバーの表情は誇ら
しく輝いていました。
先月の特集で佐野昭吾
さんが「東芝セラミッ
クス(株)に勤務してい
た時」という記事があ
りました。「東芝電機
(株)に勤務していた時
」の誤りでした。訂正
してお詫びします。(舟
山)